



塗装方法／かわら屋根の場合（缶の切り口に注意・手袋を必ず着用すること）

1.下地調整
2.マスキング
3.下塗り
4.充てん
5.かくはん

■はがれかけの塗膜やこけ・カビは皮スキ、ワイヤーブラシなどでよく落とし、つやのある旧塗膜はサンドペーパーで表面をあらします。
■油汚れはペイントうすめ液を含ませたウエスで拭き取り、ゴミ・泥などの汚れや、拭くと白い粉が付く塗膜はデッキブラシなどで洗浄し、充分に乾燥させます。
■高圧洗浄機を使うと効率的です。
■水桶や破風板などの塗らない部分や境目はマスキングテープ、ボリマスカーや新聞紙でカバーします。ボリマスカーカーはビニールシートとマスキングテープが一体化したもので非常に便利です。
■高い所を塗るときは、塗料が飛び散ることがあるので、事前に周囲にある車などを移動しておきます。

6.塗装
7.ローラー塗装
8.あとしまつ
9.保管

■塗装順序は上から下へ、最後にはしごにたどり着くよう逃げ道をつくりながら塗ります。（高所落丁注意）
■下塗り乾燥後、小分けで隅や塗りにくくする所から先に塗り、その後、専用ハケやローラーバケを使って一度に厚塗りせず2回塗りで仕上げます。

■広くて平らな面はローラーが便利です。ローラーを受け皿の上で数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、塗料の含み具合を調節して下に一緒に塗り広げます。（上塗り塗装後、マスキングテープは塗膜が手につかなくなったら内側に向けてゆっくりはがします。）

■使い終えたハケや用具は、新聞紙などで拭き取り、すぐで数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、塗料の含み具合を調節して下に一緒に塗り広げます。（上塗り塗装後、マスキングテープは塗膜が手につかなくなったら内側に向けてゆっくりはがします。）

■広くて平らな面はローラーが便利です。ローラーを受け皿の上で数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、さらに中性洗剤入りの水で洗い、陰干し後ビニール袋に入れ保管します。

■残った塗料は原液のままなら長期間（約1年）保存可能。塗料の表面にラップフィルムをのせ、ビニール袋などで完全にふたをして保管すること。

■広くて平らな面はローラーが便利です。ローラーを受け皿の上で数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、塗料の含み具合を調節して下に一緒に塗り広げます。（上塗り塗装後、マスキングテープは塗膜が手につかなくなったら内側に向けてゆっくりはがします。）

■残った塗料は原液のままなら長期間（約1年）保存可能。塗料の表面にラップフィルムをのせ、ビニール袋などで完全にふたをして保管すること。

■手や肌に付着したとき：石鹼水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化等があるときには、医師の診察を受けること。
■誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さないで、すみやかに医師の診察を受けること。
■気分が悪くなったとき：作業を中止し空気の清浄な場所で安静にすること。
■容器の色表示は、中身の色と多少異なることがあります。
■乾燥時間・塗り面積の表示は気象条件・塗る素材・形状・塗り方・うすめ液によって多少異なります。

火気厳禁 第四類 第二石油類（危険等級Ⅱ）
合成樹脂エナメル塗料
スチール缶 中身を使いつぶしてください。
プロテクタ・プラスチック（PE）
キャップ・容器:スチール

引火性あり
引火性の液体
有害性あり
有害な溶剤や有毒な物質の恐れがある。
火気厳禁 第四類 第二石油類（危険等級Ⅱ）
合成樹脂エナメル塗料
スチール缶 中身を使いつぶしてください。
プロテクタ・プラスチック（PE）
キャップ・容器:スチール

**超耐久
高耐久
超速乾**

油性シリコン屋根用

アクリルシリコン

**耐久性・耐水性がパワーアップ
酸性雨・雪・排ガス・塩害・紫外線に強い!!**

塗装方法／トタン屋根の場合（缶の切り口に注意・手袋を必ず着用すること）

1.下地調整
2.マスキング
3.充てん
4.下塗り
5.かくはん

■はがれかけの塗膜やこけ・カビは皮スキ、ワイヤーブラシなどでよく落とし、つやのある旧塗膜はサンドペーパーで表面をあらします。
■雨桶や破風板などの塗らない部分や境目はマスキングテープ、ボリマスカーや新聞紙でカバーします。ボリマスカーカーはビニールシートとマスキングテープが一体化したもので非常に便利です。
■高い所を塗るときは、塗料が飛び散ることがあるので、事前に周囲にある車などを移動しておきます。

6.塗装
7.ローラー塗装
8.あとしまつ
9.保管

■広くて平らな面はローラーが便利です。ローラーを受け皿の上で数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、さらに中性洗剤入りの水で洗い、陰干し後ビニール袋に入れ保管します。

■使い終えたハケや用具は、新聞紙などで拭き取り、すぐで数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、さらに中性洗剤入りの水で洗い、陰干し後ビニール袋に入れ保管します。

■広くて平らな面はローラーが便利です。ローラーを受け皿の上で数回ころがしてたっぷりと塗料を含ませ、一度に塗れる面積の目安をつけてくぱり塗りし、その後、一度ローラーを受け皿に戻し、さらに中性洗剤入りの水で洗い、陰干し後ビニール袋に入れ保管します。

■手や肌に付着したとき：石鹼水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化等があるときには、医師の診察を受けること。
■誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さないで、すみやかに医師の診察を受けること。
■気分が悪くなったとき：作業を中止し空気の清浄な場所で安静にすること。
■容器の色表示は、中身の色と多少異なることがあります。
■乾燥時間・塗り面積の表示は気象条件・塗る素材・形状・塗り方・うすめ液によって多少異なります。

■合成樹脂塗料
■アクリル・シリコン樹脂が色合いや風合いを保つために耐候性を強化し、長期の耐久性を保ちます。
■耐水性に優れ、お住まいの屋根を雨水、雪から守ります。
■特殊樹脂を使用した高性能油性シリコン塗料でトタン以外にもセメント瓦、新生瓦等に強力に密着します。
■超速乾（半硬化約30分）と乾燥時間が短いため、作業性がよい。

■トタン、セメント瓦、スレート瓦、新生瓦（カラーベスト・コロニアアルなど）住まいの屋根、一般鉄部・木部（床を除く）（表示以外の用途には使用しないこと）。釉薬瓦、無釉薬粘土系瓦、施釉セメント瓦、無釉セメント瓦、乾式洋瓦（モニエル瓦）、シングル系瓦、天然石瓦、及び埴（陶）瓦、銅・ステンレス・樹脂板には不適）
■ハケまたはローラーバケ塗りの場合、塗料の粘度が高く塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少しうすめます（10%以内）（アクリルトタン専用うすめ液も可）。スプレー塗装の場合には約10~30%うすめます。

■はがれかけの塗膜やこけ・カビは皮スキ、ワイヤーブラシなどでよく落とし、つやのある旧塗膜はサンドペーパーで表面をあらします。
■雨桶や破風板などの塗らない部分や境目はマスキングテープ、ボリマスカーや新聞紙でカバーします。ボリマスカーカーはビニールシートとマスキングテープが一体化したもので非常に便利です。
■高い所を塗るときは、塗料が飛び散ることがあるので、事前に周囲にある車などを移動しておきます。

■トタン板にできた釘穴や建物との境にできたすき間などは建物用コーティング材などで埋めておきます。（塗料の塗れないコーティング材もあるので要注意）
■ハケまたはローラーバケ塗りの場合、塗料の粘度が高く塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少しうすめます（10%以内）（アクリルトタン専用うすめ液も可）。スプレー塗装の場合には約10~30%うすめます。

■開缶前に缶を逆さにして搖り、天の部分を団のように二方を缶切りで開け、底の隅々まで充分にかき混ぜます。
■ハケまたはローラーバケ塗りの場合、塗料の粘度が高く塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少しうすめます（10%以内）（アクリルトタン専用うすめ液も可）。スプレー塗装の場合には約10~30%うすめます。

■はがれかけの塗膜やこけ・カビは皮スキ、ワイヤーブラシなどでよく落とし、つやのある旧塗膜はサンドペーパーで表面をあらします。
■雨桶や破風板などの塗らない部分や境目はマスキングテープ、ボリマスカーや新聞紙でカバーします。ボリマスカーカーはビニールシートとマスキング

7L

標準塗り面積 乾燥時間
●トタンの場合（1回塗り） 約30分（20℃）
100~140m²
タタミの広さで約72枚分●かわらの場合（2回塗り） 50~70m²
タタミの広さで約48枚分

●ハケ洗い・用具の後始末 ペイントうすめ液

イエローカード A
指針番号 128
国連番号 1263お問い合わせ先
カンペハピオお客様相談室
☎0120-167167

商品名：油性シリコン屋根用 K01

特長・用途

品名・成分・用具・塗装間隔

特長

- アクリル・シリコン樹脂配合により酸性雨、雪、塩害、紫外線、排気ガスなどの汚れに強い塗膜を作り、建物の外観を美しく保ちます。
- アクリル・シリコン樹脂が色合いや風合いを保つために耐候性を強化し、長期の耐久性を保ちます。
- 耐水性に優れ、お住まいの屋根を雨水、雪から守ります。
- 特殊樹脂を使用した高性能油性シリコン塗料でトタン以外にもセメント瓦、新生瓦等に強力に密着します。
- 超速乾（半硬化約30分）と乾燥時間が短いため、作業性がよい。

用途

- トタン、セメント瓦、スレート瓦、新生瓦（カラーベスト・コロニアアルなど）住まいの屋根、一般鉄部・木部（床を除く）（表示以外の用途には使用しないこと）。
- 釉薬瓦、無釉薬粘土系瓦、施釉セメント瓦、無釉セメント瓦、乾式洋瓦（モニエル瓦）、シングル系瓦、天然石瓦、及び埴（陶）瓦、銅・ステンレス・樹脂板には不適）
- ハケまたはローラーバケ塗りの場合、塗料の粘度が高く塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少しうすめます（10%以内）（アクリルトタン専用うすめ液も可）。スプレー塗装の場合には約10~30%うすめます。

注意事項

- 塗料を正しく使っていただきため、必ずお読みください。
- 気温5℃以下、雨天、湿度の高い（85%以上）時、および風が強い日には塗らないでください。結露する季節は早め（午後3時頃）に塗り終えてください。
- 目立たないとこで試し塗りし、色や仕上がりを確認してください。
- 色合いは、濡れ色と乾き色では異なりますので、乾燥後に確認してください。
- 瓦の種類を確認してからご使用ください。
- 注意事項：塗料を正しく使っていただきため、必ずお読みください。
- 取扱い上の注意
- やむを得ず塗料を捨てる時は、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ごみとして処分するか、当社の「残塗料処理剤」を使用します。
- 塗装後は手洗い、うがいを充分にすること。
- 塗装本来の目的以外には使用しないこと。
- 塗装作業中、乾燥も換気をよくして、充分に乾燥させてください。
- 保管上の注意
- 子供の手が届かない所に保管し、誤飲、誤食をしないよう注意すること。
- 塗料はふたを完全にし、容器のさびやすい所、直射日光の当たる場所を避けて冷暗所に保管すること。（うめた塗料は長期間保存できません。）
- 救急処置
- 目に入ったとき：多量の水で充分に洗いできるだけ早く医師の診察を受けること。
- 手や肌に付着したとき：石鹼水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化等があるときには、医師の診察を受けること。
- 誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さないで、すみやかに医師の診察を受けること。
- 気分が悪くなったとき：作業を中止し空気の清浄な場所で安静にすること。
- 容器の色表示は、中身の色と多少異なることがあります。
- 乾燥時間・塗り面積の表示は気象条件・塗る素材・形状・塗り方・うすめ液によって多少異なります。
- 油性シリコンがコーティング材を侵す場合があり、上塗り塗料が上手く塗れない場合があります。油性シリコンを塗装後にコーティング材を使用してください。
- シリコン樹脂、フッ素樹脂など特殊防水処理を施した面は、塗料が付着しない場合があるので拭し塗りをして付着の程度を確認してください。長い間保存する場合は、ローラーを受け皿の上でペイントうすめ液またはアクリルトタン専用うすめ液でぐるぐると塗料を含ませ、新聞紙などでラップフィルムをのせ、ビニール袋などで完全にふたをして保管してください。
- 誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さないで、すみやかに医師の診察を受けること。
- 手や肌に付着したとき：石鹼水でよく洗い流し、痛みや皮膚に変化等があるときには、医師の診察を受けること。
- 誤って飲み込んだとき：無理に吐き出さないで、すみやかに医師の診察を受けること。
- 気分が悪くなったとき：作業を中止し空気の清浄な場所で安静にすること。
- 容器の色表示は、中身の色と多少異なることがあります。
- 乾燥時間・塗り面積の表示は気象条件・塗る素材・形状・塗り方・うすめ液によって多少異なります。
- 油性シリコンなど吹き付け塗装するときは霧を吸い込まないように注意してください。
- 指定のうすめ液以外でうすめないでください。

株式会社カンペハピオ
大阪府吹田市江坂町1-23-20
ホームページ <http://www.kanpe.co.jp>